

芦屋港活性化基本計画ゾーニング変更に伴う芦屋港活性化推進委員による課題の整理

課題の抽出日：令和元年10月2日 芦屋港活性化推進委員会

項目	意見・課題	
	(今回の検討事項)	(今後の検討課題)
物流機能移転	<ul style="list-style-type: none"> ○飛砂対策 <ul style="list-style-type: none"> ・砂事業者の飛砂対策 ・芦屋海岸からの飛砂対策 ・浚渫時の野積土砂からの飛砂対策 ○景観対策 <ul style="list-style-type: none"> ・商業ゾーンからの景観(植樹など景観への配慮) ・浚渫時の野積土砂の景観 ○車両の動線と安全対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ダンプ等の車両動線 ○物流ゾーンの施設配置 <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫時の野積場(土砂揚げ場所)の確保 ・砂事業者使用スペースの局限化 ・災害対応時の機能の維持 ・移転先への恒久的な構築物設置の懸念 	<ul style="list-style-type: none"> ○町の将来像と県の提案との相違 <ul style="list-style-type: none"> (砂事業者はレジャー港化に馴染まない) ○港湾内の水深確保 ○9号野積場北側水面の浚渫

項目	意見・課題	
	(今回の検討事項)	(今後の検討課題)
ボートパーク	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上保管、陸上施設配置 <ul style="list-style-type: none"> ・陸上施設(保管場所、整備施設等)が必要 ・3号野積場の一部を管理用地として確保すべき ・管理棟の配置位置(海釣管理施設との連携) ○水上係留の配置と隻数 <ul style="list-style-type: none"> ・静穏度の確保 ・波除堤は極力北側に配置。 <ul style="list-style-type: none"> → 4号A岸壁と東防波堤の角は波の逃げ場がなく三角波が立つため危険 → 将来的な増設に対応可能 ・スペースに対する係留隻数、係留配置の可否 ・船舶所有者の高齢化、若年層の船舶所有率を考慮し、隻数を縮小するか水上保管のみとすべき ・北西の季節風を考慮した構造(浮棧橋ではなく波止を造り係留) ○講じる対策 <ul style="list-style-type: none"> ・季節風の影響で漂流物が溜まる対策が必要 ・自然災害(台風や波浪等)時の対応 ○利便性確保 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性確保 ○検討方法に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者への説明、ヒアリングは必須 = 漁業者の意見を聞いたうえで反映を ・利用者視点による施設整備、収支を検討すべき ・波除堤整備に要する期間の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ○波除堤整備の早期着手(重点課題)

項目	意見・課題	
	(今回の検討事項)	(今後の検討課題)
海釣機能	<ul style="list-style-type: none"> ○釣果とターゲット層の設定 <ul style="list-style-type: none"> ・海釣施設といえる程の釣果への懸念 ・釣果確保の工夫 <ul style="list-style-type: none"> →高炉セメントなど海藻類が育成しやすい素材の使用 →魚が生育するための穴(空間)を配置 →集魚灯の設置 ○施設に関して <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ沖(北側)に配置(3号(2)物揚場の位置に合わせる) ・波除堤までの移動距離や利便性への危惧(動線と距離) ・係留施設との併用によるトラブルの懸念(他場所での検討) ・安全対策の実施 ・環境美化、清掃等 ○施設への付加機能 <ul style="list-style-type: none"> ・釣堀の付加 ○利用料金、サービス <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金は徴収する。(マナーに関する懸念、継続性への懸念) ・ライフジャケットのレンタルと合わせて料金を徴収すべき ○整備方法(年次計画) <ul style="list-style-type: none"> ・段階的な整備・開放ではなく遠賀川沿いも含め一体的に整備し同時開放 	<ul style="list-style-type: none"> ○北防波堤(沖波止)に渡れるようにできないか ○協議会での検討事項 <ul style="list-style-type: none"> ・集客力、認知度向上、他との差別化イベントを年1~2回開催 ・魚のさばき教室がセットになった体験プログラムの実施

項目	意見・課題	
	(今回の検討事項)	(今後の検討課題)
上屋活用 飲食直売 民間誘致	<ul style="list-style-type: none"> ○上屋の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・上屋内に飲食・直売機能の集約 ・早期に具体的な整備方針を見せるべき ・砂事業者移転後に上屋は早急に事業化すべき ・サイクリングに特化した機能の付与 ・上屋のみの整備でそれ以外は不要 ○飲食直売施設の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・上屋内に飲食・直売機能の集約 ・上屋に隣接させる ・飲食直売施設での集客案を徹底的に議論すべき ・現在の配置場所にはレンタサイクルの受付、観光協会の事務所の設置が良い ○民間誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・3号野積場・4号野積場を使用 ・飲食直売施設(民間誘致含む)は上屋に隣接 ○検討に関する意見 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の商業者への影響を懸念 ・直売所は野菜だけでの集客は難しい。新鮮な魚を並べて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○上屋の活用提案 <ul style="list-style-type: none"> ・ショッピング、レストラン、ワークショップ、屋内アスレチックなどの屋内レジャー施設の整備。 ・近郊の主婦層やシニア世代をターゲットにすべき。

項目	意見・課題	
	(今回の検討事項)	(今後の検討課題)
動線	<ul style="list-style-type: none"> ○物流事業者ダンプの車両動線 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全に配慮した物流ゾーンからの車両動線 ・物流事業者車両と利用者の動線のすみ分け(特に利用が多い夏場が重要) ○海浜公園と港湾レジャーゾーンの間の車両動線 	
年次計画	<ul style="list-style-type: none"> ○年次計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋町としての年次計画の提示 ・今後の年次計画の提示 ・段階的に進める当初の計画を止めて、新たに年次計画を提示すべき ・波除堤整備に期間を要するため、スケジュールを提示し早期着手すべき 	
施設配置	<ul style="list-style-type: none"> ○施設(機能)間の連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ボートパークと飲食直売施設との連携 ・ボートパーク管理施設と海釣り管理施設との連携 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○海浜公園と緑地帯を含めた一体的な整備が重要 ○冬場の集客が課題 ○来訪客の車によって町内が混雑し、住民とのトラブルが懸念 ○近隣の飲食直売施設との共存 ○地元事業者や関係者の参画活用を図る ○民間活用を重視し、行政負担の軽減を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○抜本的な飛砂対策 ○水深の確保(浚渫) ○9号野積場北側水面の浚渫 ○オープン前のイベント実施 ○情報発信の仕方。芦屋町のローカルメディアの充実 ○入浴施設の誘致